

みんなで育てよう、緑豊かな私たちの森！子ども達に贈る自然いっぱい森

# 能ヶ谷西緑地だより

2024年5月1日号 290号 能ヶ谷西緑地・樹の会

## 【5月の予定】

- ◆5月11日（土）（雨天翌日）
    - ・桜広場の草刈り
    - ・竹林整備
  - ◆5月25日（土）（雨天翌日）
    - ・桜広場草刈り・ユリ支柱
    - ・南斜面草刈り
  - \* 9:00 現地集合（9:00～11:30）
  - ◆5月3日（土）（10:00～12:00）
    - ・ヤママユ連・手作りカフェー  
平和台集会所
- 問合せ：伊藤（735-8623）  
どなたでも参加自由です。  
作業には汚れても良い服装でおいでください。

## 【緑地に咲く】ミツバツチグリ（三葉土栗）



バラ科キジムシロ属の多年草。林の縁や野原など、日当たりの良い場所に生えます。冬は地上部が枯れて休眠し、4、5月になると黄色い花を次々と咲かせます。土栗という草に似て、葉が三つ葉なのでこの名前ですが、残念ながら三葉土栗の地下茎は食べられません。  
(長谷部)

※※※※※※※※ 緑地だより ※※※※※※※※

4月13日（土）曇り 参加者8名

今日は会長の発案で、作業でなく緑地内の散策、観察会でした。

先ず桜広場に行き、市役所が大きな木を切ってくれたあとのすっきりした様子を見ました。竹も大幅に伐採されていました。少し竹などを整理しました。梅の木の様子を見たところ、実が例年になく沢山着いていました。

お花畑広場では、大きな甕にハスの苗を植えました。メジロが溺れたあの甕です。その他むべなどの整備もしました。

結局作業になってしまいました。金らんなどを見る予定でしたのに。

設楽



シロキクラゲ。湯通しして味見しました。

4月27日（土）曇り 参加者9名

明け方小雨が降り、参加する人が少ないかなと思いましたが、いつものメンバーが揃いました。

みんなで西緑地内を廻り、花の観察会を開催。キンランの開花寸前の黄色いつぼみがかわいらしい。普段は気が付きませんが、咲くと何処にあるのかわかります。釣鐘状のホウチャクソウ、白く可憐なシロバナサギゴケ、カマツカ、ナルコ百合など西緑地にもたくさんの山野草があります。

作業後、緑地で取れたタケノコを茹でて塩で食べましたが、歯ごたえ良く、美味しかった。作業に加え、花を愛で、緑地の恵みもいただき、満足！

(藤井)



キンラン

【緑地の樹】

サツキ(皐月)

プロフィール:ツツジ科ツツジ属の常緑低木

今年はサクラが遅いなあと感じていましたが、終わってみるともう初夏の勢い。近所を歩くと目に入るのはツツジやサツキの赤や白となりました。

緑地の花広場には通路沿いにサツキが植わっていますが、いつもヘクソカズラやクズに覆われてかわいそうな状態でした。花が咲いた記憶もあまりなかったのです。

通路を歩いたときに、木を覆っている蔓を取り除いていました。すると、今年は今までになく赤い花をいっぱい咲かせてくれました。ツツジよりも花は小さいけれど、その分赤い色が濃くてかわいいですね。どんな実がつくのでしょうか、見てみたいです。

(小川)



緑地の花



紫と白のムスカリ



紫と白のジュウニ  
ヒトエモ



- ◆ 緑地内は自然緑地として保全をしています。怪我しないよう十分に気をつけて楽しんでください。
- ◆ ご意見がありましたら [nishiryokuchi@gmail.com](mailto:nishiryokuchi@gmail.com) まで  
「緑地だより」編集：小川

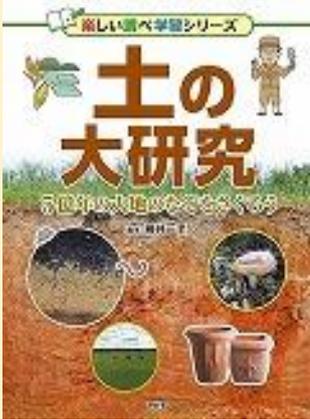
「能ヶ谷西緑地・樹の会」のHP (毎月末に更新)  
<http://home.a03.itscom.net/ryokuchi/>  
配信希望の方は、[nishiryokuchi@gmail.com](mailto:nishiryokuchi@gmail.com) まで

【緑地を楽しむ本】

## 土の大研究 —5億年の大地のなぞをさぐる—

楽しい調べ学習シリーズ

藤井一至/監修 PHP



生きていく上で必要なもの…空気、水はすぐ頭に浮かぶが、土などは全く浮かばない。でも、土は月にも火星にもない、地球にしかない大切なものであると著者は述べている。月や火星にあるのは岩石が風化してできた

砂や粘土の堆積で、木や草を育てるような土はないのだそうだ。

今から5億年前までは、地球上にも土は無かった。そのころ海から陸に進出してきた生きものたち（苔や地衣類）が、岩石を少しず

つ分解していき、またそこに生きものの遺体や糞が微生物に分解されたものが混ざり合って土ができてきた。つまり生きものが、土を作っているのだ。

土は植物の根を支えるだけでなく、養分や水を与えて植物を育てる。その植物を動物が食べて生きていくが、死ぬとまた土壌生物などに分解されて養分が土に戻る。土がなくては生きものは生きていけない。

そんな大切な土が、今、人間活動の影響で失われつつあるという。森林伐採、砂漠化、土壌汚染…世界80億の人口を支えていかななくてはならない現在、土に関してもっとよく知り、大切にしていけることが必要だ。（小川）

【やままゆ連・手作りカフェー】

### お散歩

4月6日（土） 10:00～12:00

ヤママユ連は手仕事の会ですが、年1回外に出かけます。

今年は桜の開花が遅く丁度見頃とのことで、お花見散歩に行きました。昨年は近所散歩だったのですが、知人に教えてもらった麻生区岡上営農団地の桜を目指すことにしました。

鶴川駅の陸橋を越えて岡上神社の脇から農道に入ると、すぐ桜並木のトンネルです。まだ少し蕾を残すソメイヨシノの大木が、桜色の天蓋のように両側から枝を広げています。向かいには一面黄色の菜の花畑、白い桃の花、

ずっと向こうの斜面はミツバツツジの紫、柿畑のまだ小さな若葉、多摩丘陵の農のある里山風景が広がっています。

殆ど人もいなくて、のんびりと、ツマキチョウという早春の蝶に出会ったり、草原でお茶を飲んだり、美しい風景を楽しみました。

帰りは陸橋を通らず、岡上から鶴見川を渡る鶴川駅へのコースを辿りました。同行のSさんの話では、かつてリンゴ畑もあったそうで、小ぶりのリンゴが収穫できたそうです。リンゴの花も見たかったなと、思いました。

（桑原）

